



東京地裁第2号裁判員裁判

「うわっ8時半や！」インコのお山から秘密の扉を通して人間界に来たら、なんと抗議行動集合時間ではないか。焦るインコ。イヤ、落ち着け、ここからタクシーなら10分もかからないはず。「東京地裁まで」ところが、運転手は「すみません。道順が分かりません」「じゃあ、法務省の赤れんが」「わかりません」「日比谷公園」「そこもわからないので、降りて、他のタクシーに乗ってください」地図を見る気もないドライバー(*)仕方なくタクシーを降りて、次のタクシーを待つ。雨のせいか、ラッシュの時間だからか、なかなか空車が来ない。やっと来た。

「東京地裁で何かあるんですか」

「裁判員制度に反対する抗議行動です」

「私も裁判員制度には反対なんですよ。ピラがあるならください！」

やっぱりみんな反対なんだ！！

(*)この話を聞いたみんなは「インコを乗せたものの、怖くなってわからないを連発したんだ」と笑う。かわいいインコを怖いなんて失礼な(´◇`)



「インコ様、雨の中のお出ましありがとうございます」
←「うむ、苦しゅうない。そなたもこのタオルを使え」
「はは～、有り難き幸せに存じます」
なんて会話はなかったなあ



参ったなあ。記者会見に備えてせっかく毛繕いしてきたのに…高級純羽毛を着ているもんだから、蒸し鳥になっちゃうよ



この日は「死刑廃止フォーラム90」という団体のみなさんもピラを配布していたので、もらいに行く「フォーラム90」のアンケートでは、元裁判官の6割以上が裁判員制度に反対しているとか

記者会見→

藤田弁護士が「藤田レポート」を元に、記者にレクチャー尊敬(?)のまなざしで見つめるインコ

